

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 29 年 2 月 19 日 14 時 20 分～17 時 50 分)

注意事項

- 試験問題の数は 120 問で解答時間は正味 3 時間 30 分である。
- 解答方法は次のとおりである。
 - (例 1)、(例 2) 及び (例 3) の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を (例 1)、(例 2) では 1 つ、(例 3) では 2 つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例 1)、(例 2) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3) の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

201 看護業務を行うことが可能となるのはどれか。

- 国家試験受験日以降
- 合格発表日以降
- 合格証書受領日以降
- 看護師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
			↓	
201	①	②	③	●

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	③
④	●

→

れい
(例 2)

202 看護師の離職時の届出が定められているのはどれか。

1. 医療法 いりょうほう
2. 学校教育法 がっこうきょういくほう
3. 労働基準法 ろうどう きじゅんほう
4. 保健師助産師看護師法 ほけん しじょさん しかん ごしほう
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律 かん ごしとう じんざいかく ほ そくしん かん ほうりつ

正解は「5」であるから答案用紙の(5)をマークすればよい。

とうあんようし ばあい
答案用紙①の場合、

202	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			↓		
202	(1)	(2)	(3)	(4)	●

とうあんようし ばあい
答案用紙②の場合、

202	202
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	→ (3)
(4)	(4)
(5)	●

れい
(例 3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日 せいねんがっ び
2. 受験年月日 じゅけんねんがっ び
3. 卒業年月日 そつぎょうねんがっ び
4. 就業年月日 しゅうぎょうねんがっ び
5. 登録年月日 とうろくねんがっ び

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の(1)と(5)をマークすればよい。

とうあんようし ばあい
答案用紙①の場合、

203	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			↓		
203	●	(2)	(3)	(4)	●

とうあんようし ばあい
答案用紙②の場合、

203	203
(1)	●
(2)	(2)
(3)	→ (3)
(4)	(4)
(5)	●

- (2) 計算問題については、 に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
204	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

答案用紙②の場合、

②	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
204	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

1 ^{にほん}日本の^{へいせい}平成^{ねん}26年(2014^{ねん}年)の^し死亡^{ぼうすう}数はどれか。

1. ^{やく}約^{まんにん}47万人
2. ^{やく}約^{まんにん}87万人
3. ^{やく}約^{まんにん}127万人
4. ^{やく}約^{まんにん}167万人

2 ^{へいせい}平成^{ねん}25年(2013^{ねん}年)の^{こくみんけんこう}国民健康・^{えいようちようさ}栄養調査による^{さいだいだんせい}40歳代男性の^{ひまんしゃ}肥満者の^{わりあい}割合に^{もっと}最も^{ちか}近いのはどれか。

1. 15 %
2. 35 %
3. 55 %
4. 75 %

3 ^{こうか}光化学^{がく}オキシダントの^{げんいんぶつしつ}原因物質はどれか。

1. ^そヒ素
2. フロン
3. ^{ちっそさんかぶつ}窒素酸化物
4. ホルムアルデヒド

4 ^{こうき}後期^{こうれいしゃ}高齢者^{いりようせい}医療制度が^{さだ}定められているのはどれか。

1. ^{いりようほう}医療法
2. ^{けんこうほけんほう}健康保険法
3. ^{こうれいしゃかいたいさくきほんほう}高齢社会対策基本法
4. ^{こうれいしゃいりようかくほかんほうりつ}高齢者の医療の確保に関する法律

5 国際看護師協会(ICN)による看護師の倫理綱領における看護師の基本的責任はどれか。

1. 疾病の回復
2. 医師の補助
3. 苦痛の緩和
4. 薬剤の投与

6 肺サーファクタントの分泌によって胎児の肺機能が成熟する時期はどれか。

1. 在胎 10 週ころ
2. 在胎 18 週ころ
3. 在胎 26 週ころ
4. 在胎 34 週ころ

7 入院患者の与薬時に誤認を防止するために確認するのは患者の名前とどれか。

1. 診察券
2. お薬手帳
3. 健康保険証
4. ネームバンド

8 基礎代謝量が最も多い時期はどれか。

1. 青年期
2. 壮年期
3. 向老期
4. 老年期

9 介護老人保健施設の設置目的が定められているのはどれか。

1. 介護保険法
2. 健康保険法
3. 地域保健法
4. 老人福祉法

10 病床数 300 床以上の医療機関で活動する感染制御チームで適切なものはどれか。

1. 医師で構成される。
2. 各病棟に配置される。
3. アウトブレイク時に結成される。
4. 感染症に関するサーベイランスを行う。

11 神経伝達物質はどれか。

1. アルブミン
2. フィブリン
3. アセチルコリン
4. エリスロポエチン

12 キューブラー・ロス, E. による死にゆく人の心理過程で第 2 段階はどれか。
Kübler-Ross, E.

1. 死ぬことへの諦め
2. 延命のための取り引き
3. 死を認めようとしない否認
4. 死ななければならないことへの怒り

13 下血^{げ けつ}がみられる疾患^{しつかん}はどれか。

1. 肝嚢胞^{かんのうほう}
liver cyst
2. 大腸癌^{だいちょうがん}
colorectal cancer
3. 卵巣癌^{らんそうがん}
ovarian cancer
4. 腎盂腎炎^{じん う じんえん}
pyelonephritis

14 無尿^{む にょう}の定義^{ていぎ}となる 1 日の尿量^{にち にょうりょう}はどれか。

1. 0 mL
2. 100 mL 未満^{み まん}
3. 400 mL 未満^{み まん}
4. 700 mL 未満^{み まん}

15 飛沫感染^{ひ まつかんせん}するのはどれか。

1. 疥癬^{かい せん}
scabies
2. コレラ
cholera
3. A 型肝炎^{がたかんえん}
hepatitis A
4. インフルエンザ
influenza

16 水痘^{すいとう}の症状^{しょうじょう}はどれか。
varicella

1. 耳下腺^{じ か せん}の腫脹^{しゅちよう}
2. 両頬部^{りょうきょう ぶ}のびまん性^{せい}紅斑^{こうはん}
3. 水疱^{すいほう}へと進行^{しんこう}する紅斑^{こうはん}
4. 解熱^{げ ねつ}前後^{ぜんご}の斑状^{はんじょう}丘疹^{きゅうしん}性^{せい}発疹^{はっしん}

17 血漿^{けっしょう}と等張^{とうちよう}のブドウ糖^{とうようえき}溶液^{のうど}の濃度^{のうど}はどれか。

1. 5 %
2. 10 %
3. 20 %
4. 50 %

18 ジャパン・コーマ・スケール〈JCS〉で「刺激^{しげき}しても覚醒^{かくせい}せず痛み^{いた}刺激^{しげき}に対して払^{はら}いのけるような動作^{どうさ}をする」と定義^{ていぎ}されるのはどれか。

1. I - 3
2. II - 20
3. III - 100
4. III - 300

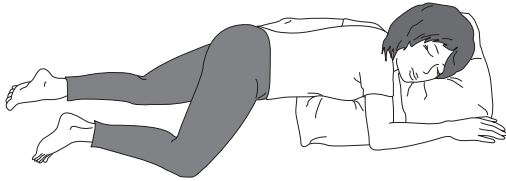
19 グリセリン浣腸^{かんちよう}を実施^{じっし}する際^{さい}、腸管穿孔^{ちようかんせんこう}の危険性^{きけんせい}が最も^{もっと}高い体位^{たかい}はどれか。

1. 立位^{りつ い}
2. 仰臥位^{ぎようがい}
3. 腹臥位^{ふくがい}
4. 左側臥位^{さそくがい}

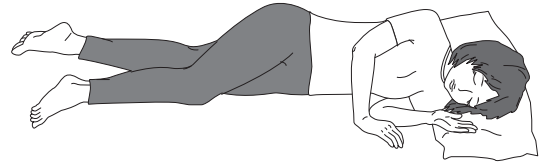
20 ^{たい い ず しめ} 体位を図に示す。

Sims〈シムス〉位はどれか。

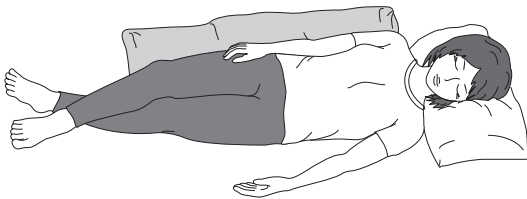
1.



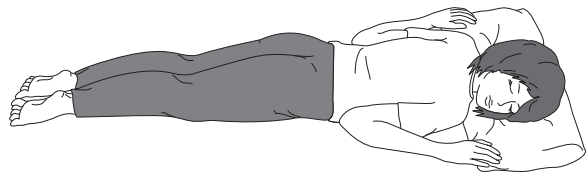
2.



3.



4.



21 ^{し すう けいさんしき} Kaup〈カウプ〉指数の計算式はどれか。

1. $\frac{\text{体重(g)}}{\text{身長(cm)}^2} \times 10$

2. $\frac{\text{体重(g)}}{\text{身長(cm)}^3} \times 10^4$

3. $\frac{\text{体重(kg)}}{\text{身長(m)}^2}$

4. $\frac{\text{実測体重(kg)} - \text{標準体重(kg)}}{\text{標準体重(kg)}} \times 100$

22 はりさ じ こ かんせん
針刺し事故によって感染するのはどれか。

1. RS ウイルス
2. B 型肝炎ウイルス
がたかんえん
3. ヘルペスウイルス
4. サイトメガロウイルス

23 ひょうちん つく かた てきせつ
氷枕の作り方で適切なのはどれか。

1. 氷を隙間なく入れる。
こおり すき ま い
2. 濡れたタオルで覆う。
ぬ おお
3. 内部の空気は残しておく。
ない ふ くう き のこ
4. 水漏れがないことを確認する。
みず も かくにん

24 いち じ きゅうめいしよ ち じ せいじん きょうこつあっぱく ふか てきせつ
一次救命処置時の成人への胸骨圧迫の深さで適切なのはどれか。

1. 2～ 3 cm
2. 5～ 6 cm
3. 8～ 9 cm
4. 11～12 cm

25 さいがい じ もっと ゆうせん ち りょう おこな
災害時に最も優先して治療を行うのはどれか。

1. 脱臼
だっ きゅう
dislocation
2. 気道熱傷
き どうねつしょう
burn of the respiratory tract
3. 足関節捻挫
そくかんせつねん ざ
ankle sprains
4. 過換気症候群
か かん きしょうこうぐん
hyperventilation syndrome

26 刺激伝導系しげきでんどうけいでないのはどれか。

1. 腱索けん さく
2. 洞房結節どうぼうけっせつ
3. 房室結節ぼうしつけっせつ
4. Purkinje〈プルキンエ〉線維せん い

27 アルドステロンで正しいのはどれか。

1. 近位尿細管きん い にようさいかんに作用する。さ よう
2. 副腎髓質ふくじんずいしつから分泌ぶんびつされる。
3. ナトリウムさいきゅうしゅうの再吸収そくしんを促進する。
4. アンジオテンシン I によって分泌ぶんびつが促進そくしんされる。

28 慢性閉塞性肺疾患まんせいへいそくせいはいしっかんについて正しいのはどれか。
chronic obstructive pulmonary disease

1. 残気量ざん きりょうは減少げんしょうする。
2. % 肺活量はいかつりょうの低下てい かが著明ちよめいである。
3. 肺コンプライアンスはいは上昇じょうしょうする。
4. 可逆性か ぎやくせいの気流閉塞きりゅうへいそくが特徴とくちょうである。

29 腰椎椎間板ヘルニアようついついかんばんで正しいのはどれか。
lumbar disc herniation

1. 高齢こうれいの女性じょせいに多発た はつする。
2. 診断しんだんには MRI が有用ゆうようである。
3. 好発部位こうはつ ぶ いは第 1・2 腰椎間だい ようついかんである。
4. 急性期きゅうせい きでは手術しゅじゅつによる治療ちりょうを行う。おこな

30 はいぐうしゃぼうりょくそうだん し えん き のう
配偶者暴力相談支援センターの機能はどれか。

1. いち じ ほ ご
一時保護
2. しゅうろう ちゅうかい
就労の仲介
3. がいしょう ちりょう
外傷の治療
4. せいかつ し きん きゅう ふ
生活資金の給付

31 し こう び もっと あたら ほうりつ
施行日が最も新しい法律はどれか。

1. こうれいしゃかいたいさく き ほんほう
高齢社会対策基本法
2. こうれいしゃ いりょう かく ほ かん ほうりつ
高齢者の医療の確保に関する法律
3. こうれいしゃぎゃくたい ぼう し こうれいしゃ よう ご しゃ たい し えんとう かん ほうりつ
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律
4. ち いき いりょうおよ かい ご そうごうてき かく ほ そくしん かんけいほうりつ せい び
地域における医療及び介護の総合的な確保を促進するための関係法律の整備
とう かん ほうりつ
等に関する法律

32 ほ けん し じょざん し かん ご し ほう さだ
保健師助産師看護師法に定められているのはどれか。

1. めんきょしゅとく ご りんしょうけんしゅう ぎ む づ
免許取得後の臨床研修が義務付けられている。
2. しんしん しょうがい めんきょ ふ よ そうたいてきけつかく じ ゆう
心身の障害は免許付与の相対的欠格事由である。
3. かん ご し せき とうろく じ こう へんこう ば あい げつ い ない しんせい
看護師籍の登録事項に変更があった場合は2か月以内に申請する。
4. と どう ふ けん ち じ と どう ふ けん してい
都道府県知事は都道府県ナースセンターを指定することができる。

33 かんじゃ じょうほう とりあつか ただ
患者の情報の取扱いについて正しいのはどれか。

1. かん ご し しゅ ひ ぎ む いりょうほう きてい
看護師の守秘義務は医療法で規定されている。
2. とうけいてき しょうり じょうほう かんじゃ こ じん とくてい
統計的に処理された情報から患者個人を特定できる。
3. り ようもくてき めいかく かんじゃ じょうほう かつよう せいげん
利用目的が明確であっても患者の情報の活用は制限される。
4. てんいんざき びょういん かんじゃ じょうほう きょうゆう ば あい かんじゃ どう い ひつよう
転院先の病院と患者の情報を共有する場合は患者の同意が必要である。

34 車椅子による移送で適切なのはどれか。

1. エレベーターの中で方向転換する。
2. 急な下り坂では前向きに車椅子を進める。
3. ティッピングレバーを踏み、段差を乗り越える。
4. 移乗する前にフットレスト〈足のせ台〉を下げる。

35 病室環境に適した照度はどれか。

1. 100～200 ルクス
2. 300～400 ルクス
3. 500～600 ルクス
4. 700～800 ルクス

36 検査の目的と採尿方法の組合せで正しいのはどれか。

1. 細菌の特定 ———— 中間尿
2. 腎機能の評価 ———— 杯分尿
3. 肝機能の評価 ———— 24 時間尿
4. 尿道の病変の推定 ———— 早朝尿

37 職業病や労働災害の防止、より健康的な労働環境の確保および労働者の健康の向上を目的としている法律はどれか。

1. 労働組合法
2. 労働基準法
3. 労働安全衛生法
4. 労働関係調整法

38 ^{がっぺいしょう}合併症のない^{ぜんしんじょうたい}全身状態が^{りょうこう}良好な^{かんじゃ}患者に対して、^{ぜんしん}全身麻酔のための^き気管挿管^{かんそうかん}を行い^{おこな}
^{ようしゅかん}用手換気をしたところ、^{ひだりきょうかく}左胸郭の^{きょじょう}挙上^{ふりょう}が不良であった。

^{げんいん}原因として^{かんが}考えられるのはどれか。

1. ^む無^き気^{はい}肺^{atelectasis}
2. ^{しょくどう}食道挿管^{そうかん}
3. ^{かたはい}片肺挿管^{そうかん}
4. ^{かん}換気量^{きりょう}不足^{ふそく}

39 ^{のうしゅけつ}脳出血の後遺症で^{こういしょう}左片麻痺^{ひだりかた まひ}と^{えんげしょうがい}嚥下障害のある^{かんじゃ}患者の^{かぞく}家族に、^{しょくじ}食事介助^{かいじょ}の^{しどう}指導^{おこな}を行
^{cerebral hemorrhage}
^{せつめい}うときの説明で^{てきせつ}適切なのはどれか。

1. 「^{しょくざい}食材に^いこんにゃく^よを入れると良いですよ」
2. 「^{からだ}体を^お起こしたら、^{ひだり}左の^{わき}脇の下^{した}を^{ささ}クッションで支えましょう」
3. 「^{くち}口の^{ひだりがわ}左側に^た食べ物^{もの}を入れるようにしましょう」
4. 「^の飲み込む^こときに^{せき}咳が^で出なければ^{ごえん}誤嚥^{しんばい}の心配はありません」

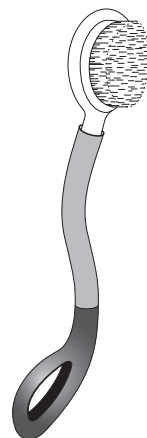
40 自助具を図に示す。

関節リウマチによって肩関節に痛みがある患者の関節保護のための自助具として
rheumatoid arthritis
 もっと適切なのはどれか。

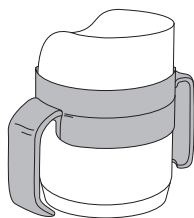
1. 万能カフ



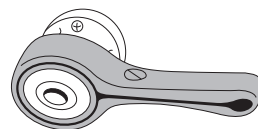
2. 長柄ブラシ



3. コップホルダー



4. レバー式ドアノブ



41 Aさん(59歳、女性)は、半年前に下咽頭癌で放射線治療を受けた。口腔内が乾
hypopharyngeal cancer
 燥し、水を飲まないと話すことも不自由なことがある。

Aさんに起こりやすいのはどれか。

1. う 歯

2. 顎骨壊死

3. 嗅覚障害

4. 甲状腺機能亢進症
hyperthyroidism

- 42 1 型糖尿病と診断された人への説明で適切なのはどれか。
type 1 diabetes mellitus
1. 自己血糖測定の試験紙の費用は医療保険の対象外である。
 2. 食事が摂取できないときはインスリン注射を中止する。
 3. 低血糖症状には振戦などの自律神経症状がある。
 4. 運動は朝食前が効果的である。
- 43 アレルギー性鼻炎について正しいのはどれか。
allergic rhinitis
1. 食後に症状が増悪する。
 2. IV型アレルギーである。
 3. スクラッチテストで原因を検索する。
 4. アレルゲンの除去は症状の抑制に有効である。
- 44 他動運動による関節可動域(ROM)訓練を行うときの注意点で適切なのはどれか。
1. 有酸素運動を取り入れる。
 2. 等尺性運動を取り入れる。
 3. 近位の関節を支持して行う。
 4. 痛みがある場合は速く動かす。

45 Aさん(80歳、女性)は、要介護2となったため長男家族(長男50歳、長男の妻45歳、18歳と16歳の孫)と同居することとなった。在宅介護はこの家族にとって初めての経験である。

Aさんの家族が新たな生活に適応していくための対処方法で最も適切なのはどれか。

1. 活用できる在宅サービスをできる限り多く利用する。
2. 家族が持つニーズよりもAさんのニーズを優先する。
3. 介護の負担が特定の家族に集中しないように家族で話し合う。
4. 10代の子どもの持つ家族の発達課題への取り組みを一時保留にする。

46 平成24年(2012年)の就業構造基本調査における65歳以上75歳未満の高齢者の就業について正しいのはどれか。

1. 女性では就業している者の割合は40%以上である。
2. 就業していない者よりも就業している者の割合が多い。
3. 就業していない者のうち40%以上が就業を希望している。
4. 就業している者のうち非正規職員・従業員の割合は成人期より多い。

47 高齢者施設に入所中のAさん(78歳、女性)は、長期間寝たきり状態で、便秘傾向のため下剤を内服している。下腹部痛と便意を訴えるが3日以上排便がなく、浣腸を行うと短く硬い便塊の後に、多量の軟便が排泄されることが数回続いている。既往歴に、消化管の疾患や痔はない。

Aさんの今後の排便に対する看護として最も適切なのはどれか。

1. 直腸の便塊の有無を確認する。
2. 止痢薬の処方を医師に依頼する。
3. 1日の水分摂取量を800mL程度とする。
4. 食物繊維の少ない食事への変更を提案する。

48 老年期ろうねん きのうつ病うつ びょうに特徴的な症状とくちょうてき しょうじょうはどれか。

1. 幻覚げん かく depression
2. 感情鈍麻かんじょうどん ま
3. 心気症状しん き しょうじょう
4. 着衣失行ちやく い しつこう

49 高齢者こうれいしゃに術後じゅつごの呼吸器合併症こきゅう き がつぺいしやう はつしやうが発症ししやすい理由りゆうで正しいのはどれか。

1. 残気量の減少ざん きりやう げんしやう
2. 肺活量の低下はいかつりやう てい か
3. 嚥下反射の閾値の低下えん げはんしや いき ち てい か
4. 気道の線毛運動の亢進き どう せんもううんどう こうしん

50 学童期がくどう きの肥満ひ まんについて正しいのはどれか。

1. 肥満傾向児ひ まんけいこう じは肥満度ひ まん ど 30 % 以上と定義いじやう てい ぎされる。
2. 肥満傾向児ひ まんけいこう じは高学年こうがくねんより低学年ていがくねん おおが多い。
3. 肥満傾向児ひ まんけいこう じは男子だん しより女子じょ し おおが多い。
4. 成人期せいじん きの肥満ひ まんに移行い こうしやすい。

51 外性器異常がいせい き い じやうが疑われた新生児うたが しんせい じの親おやへの対応たいおうとして適切なてきせつのはどれか。

1. 出生直後に性別せいべつを伝えるつた。
2. 内性器ないせい きには異常い じやうがないことを伝えるつた。
3. 出生直後に母児ぼ じの早期接触そう き せつしよくを行わないおこな。
4. 出生届しゅっせいとどけは性別保留せいべつ ほりゅうで提出ていしゅつできることを説明するせつめい。

52 受胎^{じゅたい}のメカニズムで正しい^{ただ}のはどれか。

1. 排卵^{はいらん}は黄体形成^{おうたいけいせい}ホルモン^{ぶんびつ}〈LH〉の分泌^{げんしょう}が減少^おして起こる。
2. 卵子^{らんし}の受精能力^{じゅせいのうりょく}は排卵後^{はいらんご} 72 時間^{じかん}持続^{じぞく}する。
3. 受精^{じゅせい}は卵管膨大部^{らんかんぼうだい}で起こることが多い^{おお}。
4. 受精後^{じゅせいご} 2 日^{ふつ}で受精卵^{じゅせいらん}は着床^{ちゃくしょう}を完了^{かんりょう}する。

53 成熟期^{せいじゅくき}女性^{じょせい}の受胎調節^{じゅたいちようせつ}について適切な^{てきせつ}のはどれか。

1. 経口避妊薬^{けいこうひにんやく}は女性^{じょせい}が主導^{しゅどう}で使用^{しよう}できる。
2. コンドーム法^{ほう}の避妊効果^{ひにんこうか}は 99 % 以上^{いじょう}である。
3. 基礎体温法^{きそたいおんぽう}は月経^{げつけい}が不順^{ふじゆん}な女性^{じょせい}に有用^{ゆうよう}である。
4. 子宮内避妊器具^{しきゅうないひにんきぐ}〈IUD〉は経産婦^{けいさんぶ}より未産婦^{みさんぶ}に挿入^{そうにゅう}しやすい。

54 災害後^{さいがいご}の成人^{せいじん}にみられる防衛機制^{ぼうえいきせい}はどれか。

1. 不安^{ふあん}で眠れ^{ねむ}なくなる。
2. 激しい怒り^{はげ}を表現^{いか}する。^{ひょうげん}
3. 言動^{げんどう}が子ども^このように幼^{おきな}くなる。
4. 自分^{じぶん}だけが無事^{ぶじ}で申し訳^{もうわけ}ないと思う^{おも}う。

55 Aさん(65歳、男性)は、胃癌を疑われ検査入院した。入院時、認知機能に問題はなかった。不眠を訴え、入院翌日からベンゾジアゼピン系の睡眠薬の内服が開始された。その日の夜、Aさんは突然ナースステーションに来て、意味不明な内容を叫んでいた。翌朝、Aさんは穏やかに話し意思疎通も取れたが「昨夜のことは覚えていない」と言う。

Aさんの昨夜の行動のアセスメントで最も適切なのはどれか。

1. 観念奔逸
2. 感情失禁
3. 妄想気分
4. 夜間せん妄

56 2人以上の精神保健指定医による診察結果の一致が要件となる入院形態はどれか。

1. 応急入院
2. 措置入院
3. 医療保護入院
4. 緊急措置入院

57 Aさん(65歳、男性)は、肺気腫で在宅酸素療法を受けている。ある日、Aさんの妻(70歳)から「同居している孫がインフルエンザにかかりました。今朝から夫も体が熱く、ぐったりしています」と訪問看護ステーションに電話で連絡があったため緊急訪問した。

訪問看護師が確認する項目で優先度が高いのはどれか。

1. 喀痰の性状
2. 胸痛の有無
3. 関節痛の有無
4. 経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉

58 地域^{ちいき}包括^{ほうくわく}ケアシステムについて正しいのはどれか。

1. 都道府県^{とどうふけん}を単位^{たんい}として構築^{こうちく}することが想定^{そうてい}されている。
2. 75歳^{さい}以上の人口^{じんこう}が急増^{きゅうぞう}する地域^{ちいき}に重点^{じゅうてん}が置^おかれている。
3. 本人^{ほんにん}・家族^{かぞく}の在宅生活^{ざいたくせい}の選択^{せんたく}と心構え^{こころがまえ}が前提条件^{ぜんていじょうけん}とされている。
4. 地域特性^{ちいきとくせい}にかかわらず同じサービス^{おなじサービス}が受けられることを目指^{めざ}している。

59 障害者^{しょうがいしゃ}の日常生活^{にちじょうせいかつ}及び社会生活^{しゃかいせいかつ}を総合的^{そうごうてき}に支援^{しえん}するための法律^{ほうりつ}〈障害者総合支援法^{しょうがいしゃそうごうしえんほう}〉に基づいて、障害者^{しょうがいしゃ}が利用^{りよう}できるサービスはどれか。

1. 育成医療^{いくせい りりょう}
2. 居宅療養管理指導^{きょたくりょうようかん り し どう}
3. 共同生活援助〈グループホーム〉^{きょうどうせいかつえんじょ}
4. 介護予防通所リハビリテーション^{かい ご よ ぼうつうしよ}

60 Aさん(55歳^{さい}、女性^{じょせい})は、夫^{おと}と2人^{ふたり}で暮^くらしている。進行性^{しんこうせい}の多発性硬化症^{た はつせいこう かしょう ざい}で在宅療養^{たくりょうよう}をしている。脊髄系^{せきずいけい}の症状^{しょうじょう}が主^{おも}で、両下肢^{りょう か し}の麻痺^{まひ}、膀胱直腸障害^{ぼうこうちよくちようしょうがい}および尿閉^{にょうへい}がある。最近^{さいきん}は座位^{ざい}の保持^ほが難^{むずか}しく、疲れ^{つか}やすくなっている。排尿^{はいにょう}はセルフカテーテル^{セルフカテーテル}を使用してAさんが自己導尿^{じ こ どうにょう}を行い、排便^{はいべん}は訪問看護師^{ほうもんかんし}が浣腸^{かんちよう}を行っている。夫^{おと}は仕事^{しごと}のため日中^{にっちゅう}は不在^{ふざい}である。

Aさんの身体状態^{しんたいじょうたい}に合わせた療養生活^{りょうようせいかつ}で適切な^{てきせつ}のはどれか。

1. 入浴^{にゅうよく}はシャワー浴^{よく}とする。
2. 介助型^{かいじょがた}の車椅子^{くるまいす}を利用^{りよう}する。
3. ベッドの高^{たか}さは最低^{さいてい}の位置^いで固定^{こてい}する。
4. セルフカテーテル^{セルフカテーテル}はトイレ^{トイレ}に保管^{ほかん}する。

61 いりょう ひょうじゅん か もくてき かつよう
医療の標準化を目的に活用されているのはどれか。

1. コーピング
2. クリニカルパス
3. エンパワメント
4. コンサルテーション

62 Aさん(27歳、男性)は、地震によって倒壊した建物に下腿を挟まれていたが、
ふつ か ご きゅうしゅつ き おうれき とつ き
2日後に救出された。既往歴に特記すべきことはない。

ちゅう い じょうたい
注意すべき状態はどれか。

1. 尿崩症
にょうほうしょう
2. 高カリウム血症
こう けっしょう
3. 低ミオグロビン血症
てい けっしょう
4. 代謝性アルカローシス
たいしゃせい

63 さいがい いりょう
災害医療におけるトリアージについて正しいのはどれか。

1. 傷病者を病名によって分類する。
しょうびょうしゃ びょうめい ぶんるい
2. 危険区域と安全区域を分けることである。
きけん くいき あんぜん くいき わ
3. 医療資源の効率的な配分のために行われる。
いりょう しげん こうりつてき はいぶん おこな
4. 救命が困難な患者に対する治療を優先する。
きゅうめい こんなん かんじゃ たい ちりょう ゆうせん

64 こくさい ほけん かん きかん
国際保健に関する機関について正しいのはどれか。

1. 国際協力機構<JICA>は国境なき医師団の派遣を行う。
こくさいきょうりょく きこう こっきょう い し だん はけん おこな
2. 国連開発計画<UNDP>は労働者の健康保護の勧告を行う。
こくれんかいはつけいかく ろうどうしゃ けんこう ほ ご かんこく おこな
3. 世界保健機関<WHO>は国際疾病分類<ICD>を定めている。
せ かい ほけん きかん こくさいしつぺいぶんるい さだ
4. 赤十字国際委員会<ICRC>は国際連合<UN>の機関の1つである。
せきじゅう じ こくさい い いんかい こくさいれんごう きかん ひと

65 女性^{じょせい}の骨盤腔内器官^{こつばんくうない き かん}について腹側^{ふくそく}から背側^{はいそく}への配列^{はいれつ}で正しい^{ただ}のはどれか。

1. 尿道^{にょう どう} — 肛門管^{こうもんかん} — 膣^{ちつ}
2. 膣^{ちつ} — 尿道^{にょう どう} — 肛門管^{こうもんかん}
3. 肛門管^{こうもんかん} — 膣^{ちつ} — 尿道^{にょう どう}
4. 尿道^{にょう どう} — 膣^{ちつ} — 肛門管^{こうもんかん}
5. 膣^{ちつ} — 肛門管^{こうもんかん} — 尿道^{にょう どう}

66 公的年金制度^{こうてきねんきんせい ど}について正しい^{ただ}のはどれか。

1. 学生^{がくせい}は申請^{しんせい}によって納付^{のう ふ}が免除^{めんじょ}される。
2. 生活保護^{せいかつ ほ ぐ}を受けると支給^{しきゅう}が停止^{ていし}される。
3. 保険料^{ほ けんりょう}が主要財源^{しゅようざいげん}である。
4. 任意加入^{にん い か にゅう}である。
5. 積立方式^{つみたてほうしき}である。

67 健康^{けんこう}に影響^{えいきょう}を及ぼす生活環境^{およ せいかつかんきょう}とそれを規定^{き てい}している法律^{ほうりつ}の組合せ^{くみあわ}で正しい^{ただ}のはどれか。

1. 上水道^{じょうすいどう} — 水質汚濁防止法^{すいしつ お だくぼう し ほう}
2. 飲食店^{いんしょくてん} — 食品衛生法^{しょくひんえいせいほう}
3. 家庭ごみ^{か てい} — 悪臭防止法^{あくしゅうぼう し ほう}
4. 学校環境^{がっこうかんきょう} — 教育基本法^{きょういく き ほんほう}
5. 住宅用の建築材料^{じゅうたくよう けんちくざいりょう} — 環境基本法^{かんきょう き ほんほう}

68 チェーンソーの使用によって生じるのはどれか。

1. じん肺
pneumoconiosis
2. 視力低下
3. 心筋梗塞
myocardial infarction
4. 肘関節の拘縮
5. Raynaud〈レイノー〉現象

69 Aさん(61歳、男性)は、水分が飲み込めなため入院した。高度の狭窄を伴う進行食道癌と診断され、中心静脈栄養が開始された。入院後1週、Aさんは口渇と全身倦怠感を訴えた。意識は清明であり、バイタルサインは脈拍108/分、血圧98/70 mmHgであった。尿量は1,600 mL/日で、血液検査データは、アルブミン3.5 g/dL、AST〈GOT〉45 IU/L、ALT〈GPT〉40 IU/L、クレアチニン1.1 mg/dL、血糖190 mg/dL、Hb 11.0 g/dLであった。

Aさんの口渇と全身倦怠感の要因として最も考えられるのはどれか。

1. 貧血
2. 低栄養
3. 高血糖
4. 腎機能障害
5. 肝機能障害

70 病的な老化を示すのはどれか。

1. 肝臓の萎縮
2. 動脈の粥状硬化
3. 毛様体筋の機能低下
4. 心筋の弾性線維の減少
5. 膀胱の平滑筋の線維化

71 生後1か月の男児。Hirschsprung病と診断され、生後6日、回腸部にストーマ造設術を行った。術後の経過は良好であり、退院に向けてストーマケアに関する指導を行うことになった。

母親に対する指導として適切なのはどれか。

1. 「面板をはがした部位はタオルで拭いてください」
2. 「ストーマ装具の交換は授乳直後に行ってください」
3. 「ストーマから水様の便が出る時は受診してください」
4. 「ストーマ装具の交換は滅菌手袋を装着して行ってください」
5. 「ストーマ装具は便を捨てる部分が体の外側に向くように貼ってください」

72 放射線療法に関わる看護師の健康管理に必要なのはどれか。

1. 線量計を装着する。
2. ヨウ素剤を服用する。
3. ゴーグルを着用する。
4. N95マスクを着用する。
5. 鉛を含んだエプロンを着用する。

73 ホメオスタシスに關与するのはどれか。2つ選べ。

1. 味 蕾
2. 筋紡錘
3. 痛覚受容器
4. 浸透圧受容器
5. 中枢化学受容体

74 眼球内での光の通路に参与するのはどれか。2つ選べ。

1. 強膜
2. 脈絡膜
3. 毛様体
4. 硝子体
5. 水晶体

75 排便時の努責で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 直腸平滑筋は弛緩する。
2. 呼吸位で呼吸が止まる。
3. 外肛門括約筋は収縮する。
4. 内肛門括約筋は弛緩する。
5. 腹腔内圧は安静時より低下する。

76 急性炎症と比較して慢性炎症に特徴的な所見はどれか。2つ選べ。

1. 好中球浸潤
2. CRPの上昇
3. リンパ球浸潤
4. 形質細胞の浸潤
5. 血管透過性の亢進

77 狭心症の治療に用いる薬はどれか。2つ選べ。
angina pectoris

1. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬
2. スルホニル尿素薬
3. ジギタリス製剤
4. 抗血小板薬
5. 硝酸薬

78 出血傾向を把握するために重要なのはどれか。2つ選べ。

1. 血糖値
2. 血清鉄
3. 血小板数
4. アルカリフォスファターゼ値
5. 活性化部分トロンボプラスチン時間〈APTT〉

79 胃食道逆流症について正しいのはどれか。2つ選べ。
gastro-esophageal reflux disease

1. 食道の扁平上皮化生を起こす。
2. 上部食道括約筋の弛緩によって生じる。
3. 食道炎の程度と症状の強さが一致する。
4. プロトンポンプ阻害薬が第一選択の治療法である。
5. Barrett〈バレット〉上皮は腺癌の発生リスクが高い。

80 患者^{かんじゃ}の自立支援^{じりつしえん てきせつ}で適切な^{ふた えら}のはどれか。2つ選^{えら}べ。

1. 不足^{ふそく}している知識^{ちしき}を補^{おぎな}う。
2. 発病前^{はつびょうまえ}の生活習慣^{せいかつしゅうかん}を尊重^{そんちょう}する。
3. 支援目標^{しえんもくひょう}を看護師^{かんごし}があらかじめ^{さだ}定める。
4. できないこと^{しやうてん}に焦点^あを当てて^{こうどう}行動^{しゅうせい}を修正^{しゅうせい}する。
5. 支援者^{しえんしゃ}である看護師^{かんごし}が上位^{じょうい}の関係^{かんけい}が望^{のぞ}ましい。

81 腹圧性尿失禁^{ふくあつせいにょうしっきん}のケアとして適切な^{てきせつ}のはどれか。2つ選^{ふた えら}べ。
stress incontinence of urine
か ふくぶ ほ おん

1. 下腹部^{かふくぶ}を保温^{ほおん}する。
2. 骨盤底筋群^{こつぽんていきんぐんくんれん}訓練^{うなが}を促^{うなが}す。
3. 定期的な水分^{てい き てき すいぶん}摂取^{せつしゅ}を促^{うなが}す。
4. 恥骨上部^{ちこつじょうぶ}の圧迫^{あつぱく}を指導^{しどう}する。
5. 尿意^{にょうい}を感じたら^{かん}早^{はや}めにトイレへ行く^いことを促^{うなが}す。

82 手段的日常生活動作^{しゅだんてきにちじょうせいかつどう さ}〈IADL〉はどれか。2つ選^{ふた えら}べ。

1. 食^{しょく} 事^じ
2. 洗^{せん} 濯^{たく}
3. 入^{にゅう} 浴^{よく}
4. 更^{こう} 衣^い
5. 買^かい物^{もの}

83 ^{かいほうせいそんしょう}開放性損傷はどれか。2つ^{ふた えら}選べ。

1. ^{せつ そう}切創
2. ^{だ ぼくしょう}打撲傷
3. ^{さっ か そう}擦過創
4. ^{ひ か しゅけつ}皮下出血
5. ^{ないぞうそんしょう}内臓損傷

84 ^{じ どうけんしょう}児童憲章について^{ただ}正しいのはどれか。2つ^{ふた えら}選べ。

1. ^{じ どう}児童がよい^{かんきょう なか}環境の中で^{そだ}育てられることを^{さだ}定めている。
2. ^{じ どう}児童の^{けん り}権利に関する^{かん}条約を^{じょうやく う}受けて^{せいいてい}制定された。
3. ^{じ どう}児童が^{ひと}人として^{とうと}尊ばれることを^{さだ}定めている。
4. ^{ほ ごしゃ}保護者の^{せき む}責務を^{さだ}定めている。
5. ^{い はん}違反すると^{ばつそく きてい}罰則規定がある。

85 ^{きゅうせいちゅう じ えん}急性中耳炎で^{ないふくやく}内服薬による^{ちりょう う}治療を受けた^{さい だん じ}5歳の男児および^{ほ ごしゃ たい}保護者に対して、^{ち ゆ}治療^{acute otitis media}後^ごに行^{おこな}う^{せいかつ}生活指導^{し どう}で^{てきせつ}適切な^{ふた えら}のはどれか。2つ選べ。

1. ^{かたがわ}片側ずつ^{はな}鼻をかむ。
2. ^{じ こう}耳垢は^{まいにちじょきょ}毎日除去する。
3. ^{にゅうよく じ}入浴時は^{みみせん}耳栓を^{し しょう}使用する。
4. ^{おおこえ}大声を^だ出させないようにする。
5. ^{はつねつ じ}発熱時は^{じ ろう}耳漏の^{う む}有無を^{かくにん}確認する。

86 Aさん(50歳、女性)は、急に体が熱くなったり汗をかいたりし、夜は眠れなくなり疲れやすさを感じるようになった。月経はこの1年間で2回あった。

Aさんのホルモンで上昇しているのはどれか。2つ選べ。

1. エストロゲン
2. プロラクチン
3. プロゲステロン
4. 黄体形成ホルモン(LH)
5. 卵胞刺激ホルモン(FSH)

87 医療現場における暴力について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 精神科に特有のものである。
2. 病室環境は誘因にならない。
3. 目撃者は被害者に含まれない。
4. 暴力予防プログラムに合わせて対処する。
5. 発生を防止するためには組織的な体制の整備が重要である。

88 精神医療におけるピアサポーターの活動について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 訪問活動は禁止されている。
2. 活動には専門家の同行が条件となる。
3. ピアサポーター自身の回復が促進される。
4. 精神保健医療福祉サービスの利用を終了していることが条件となる。
5. 自分の精神障害の経験を活かして同様の体験をしている人を支援する。

89 6% A 消毒液^{しょうどくえき}を用いて、医療器材^{いりょうきざい}の消毒用の0.02% A 消毒液^{しょうどくえき}を1,500 mL 作るために必要な6% A 消毒液^{しょうどくえき}の量を求めよ。

ただし、小数点以下第2位^{しょうすうてん い か だい}を四捨五入^{い ししや ごにゅう}すること。

解答^{かいとう}： ① . ② mL

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

90 体重 9.6 kg の患児に、小児用輸液セットを用いて体重 1 kg 当たり 1 日 100 mL の輸液を行う。

このときの 1 分間の滴下数を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入すること。

解答： 滴/分

- | ① | ② |
|---|---|
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん(82 歳、男性)は、介護付の有料老人ホームに入居している。10 年前まで会社を経営していた。プロ野球や世界経済に興味があり、友人とインターネットを用いて交流するのを楽しみにしている。Parkinson<パーキンソン>病で、現在 Parkinson's disease Hoehn-Yahr<ホーエン・ヤール>の重症度分類でステージⅡ。両側の上下肢の静止振戦や動作緩慢がみられる。食事は自分の居室に運んでもらって食べている。身の回りのことは 1 人でできる。1 人での外出も可能だが、転倒に対する恐怖が強いので 1 日中室内で過ごしている。

91 A さんの障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準のランクはどれか。

1. ランク A
2. ランク B
3. ランク C
4. ランク J

92 A さんは「最近、尿が出始めるまでに時間がかかるので、排尿時は自分で下腹部を押しています。尿がすっきり出ません」と言う。泌尿器科を受診したところ、Parkinson<パーキンソン>病による自律神経障害と診断された。

A さんの現在の状況から最も考えられるのはどれか。

1. 残尿がある。
2. 膀胱が萎縮している。
3. 蓄尿障害が生じている。
4. 骨盤底筋群の筋力が低下している。

93 ゆうりょうろうじん かんごし びょうき しんこう よぼう うんどう すす
有料老人ホームの看護師はAさんに病気の進行を予防するために運動を勧めた
が、Aさんは「この病気は進行性だからいつかは動けなくなる。今、転ぶと骨折し
て動けなくなるかもしれない。だから運動するのは嫌だ」と言う。Aさんは
Parkinson (パーキンソン) 病に関する情報を入手しており、病状の理解ができてい
る。薬物は自己管理できている。かかりつけ医に自分から病状の説明を求めること
もある。

Aさんの転倒の不安を軽減するために看護師とAさんが一緒に実施することで、
もっと適切なのはどれか。

1. くるまい す がいしゅつ
車椅子で外出する。
2. てんとう よぼうきょうしつ さん か けんとう
転倒予防教室への参加を検討する。
3. はいようしょうこうぐん かん じょうほう しゅうしゅう
廃用症候群に関する情報を収集する。
4. disuse syndrome うんどう こう か てんとう ひ かく
運動の効果と転倒のリスクとを比較する。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん (79 歳、女性)。自宅の玄関で転倒し、救急外来で第 12 胸椎の
あっぱくこっせつ しんだん あんせいもくてき にゅういん
圧迫骨折と診断され、安静目的で入院した。

既往歴 : 5 年前に大腿骨骨折。
compression fracture femoral fracture

現病歴 : 2 年前に Alzheimer〈アルツハイマー〉病を発症。記憶障害があるが、失
Alzheimer disease
認、観念運動失行および失語はなし。

生活歴 : 要介護 1。同じ敷地内に住む長男夫婦は仕事をしている。ADL は自立。

94 入院当日、A さんは看護師に「ここはどこですか」と同じ質問を繰り返している。

このときの看護で最も適切なものはどれか。

1. 体幹を抑制する。
2. 家族に夜間の付き添いを依頼する。
3. ナースステーションにベッドを移動する。
4. 骨折で入院していることを繰り返し伝える。

95 入院後 8 日、理学療法室での訓練が始まった。A さんはこわばった表情で訓練を
うけていた。A さんは、以前は通所リハビリテーションを利用していたが、人が多
い場で落ち着かなくなることがあり、入院前には小規模多機能型居宅介護事業所を
利用していたことが家族からの情報で分かった。翌日、理学療法士が「理学療法室
に行きましょう」と病室に迎えに来たところ、A さんは「行きたくない」と嫌がった。

このときの A さんに対する看護で最も適切なものはどれか。

1. 看護師が理学療法室まで付き添う。
2. 病棟でのリハビリテーションを提案する。
3. A さんに再転倒を予防する必要性を説明する。
4. 小規模多機能型居宅介護事業所の利用を勧める。

96 入院後3週、Aさんはコルセットを装着し、杖を使ってゆっくり歩けるようになった。翌週には自宅へ退院することが決まった。

Aさんの退院に向けて、Aさんと長男夫婦への指導内容で適切なのはどれか。

1. 自宅ではコルセットを外してよい。
2. 家の中での日常生活行動を積極的に行う。
3. 5,000歩程度のウォーキングを毎日行う。
4. ビタミンB₁の多い食品を積極的に摂取する。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A ちゃん(11 歳、女児)。眼瞼浮腫がみられたため、眼科を受診し治療を受けたが
改善しなかった。その後、A ちゃんと母親が下腿の浮腫に気づき眼科の医師に相談し
たところ、特発性ネフローゼ症候群を疑われたため、小児科のある病院を紹介され受
診した。
idiopathic nephrotic syndrome

97 看護師が収集すべき A ちゃんの情報で優先度が高いのはどれか。

1. 食欲
2. 家族歴
3. 手術歴
4. 海外渡航歴
5. 初経の発来の有無

98 A ちゃんは排尿回数が減少し、全身に浮腫が認められた。血圧は 110/68 mmHg
であった。尿検査を行い、尿蛋白 4 + であった。血液検査は、アルブミン 1.3
g/dL、総コレステロール 350 mg/dL、クレアチニン 0.4 mg/dL、Na 130 mEq/L、
K 4.5 mEq/L であった。特発性ネフローゼ症候群と診断され入院した。
idiopathic nephrotic syndrome
A ちゃんが摂取を制限する必要があるのはどれか。

1. ナトリウム
2. カリウム
3. 蛋白質
4. 水分
5. リン

99 Aちゃんは、ステロイド治療の開始後10日で尿蛋白が陰性となり、浮腫等の症状が改善した。入院後3週、ステロイド薬の副作用(有害事象)として、満月様顔貌が出現している。他に明らかな副作用(有害事象)は出現していない。ステロイド薬の内服を続けながら退院することになった。

Aちゃんの退院後の生活について指導する内容で適切なのはどれか。

1. 日光を避ける。
2. 体重の測定は毎日行う。
3. 1か月は学校を欠席する。
4. 入浴ではなくシャワー浴とする。
5. 満月様顔貌が気になる場合もステロイド薬の内服を続ける。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A さん(24 歳、初産婦、会社員)は、現在、両親と妹の 4 人で暮らしている。パートナー(24 歳、会社員)と結婚する予定である。A さんは、妊娠 8 週の妊婦健康診査で「朝起きると気持ちが悪くあまり食べられません。台所から食べ物の匂いがするだけで吐き気がします」と話している。

100 A さんへの食事指導で最も適切なものはどれか。

1. 水分は温かい飲料にする。
2. 栄養のバランスのよい食物を摂取する。
3. 1 回量を少なくして食べる回数を増やす。
4. カロリーの高い食物を積極的に摂取する。

101 このときの妊婦健康診査で「妊娠することは考えていなかったもので、これから自分の体にどういうことが起こるのか分かりません」と A さんから相談があった。看護師は、次の妊婦健康診査までに生じやすい変化について説明することにした。

A さんに生じやすいのはどれか。

1. 痔
2. 便秘
3. 腰痛
4. 静脈瘤

102 Aさんは、妊娠23週に結婚し、パートナーの家に転居した。翌週の妊婦健康診査で、Aさんは「最近、結婚や引っ越しで忙しかったです。これから新しい環境に慣れていきたいと思っています」と話した。妊娠経過は順調である。

このときに看護師がAさんに対して説明する内容で優先度が高いのはどれか。

1. 保育所の選択
2. 乳房の手入れ
3. 側臥位での睡眠
4. 妊婦健康診査の受診頻度

つぎ ぶん よ
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A さん(26 歳、経産婦)は、夫(30 歳)と長女(2 歳)の 3 人で暮らしている。妊娠 37 週 2 日、これまでの妊娠経過に異常はない。9 時に陣痛が開始し、10 時に夫に付き添われ入院した。入院時、陣痛間欠 9 分、陣痛発作 30 秒であった。内診所見は子宮口 2 cm 開大で、少量の羊水の流出を認めた。羊水混濁はなかった。21 時 30 分に子宮口全開大、22 時 30 分に 3,200 g の男児を正常分娩で出産した。会陰裂傷は第 2 度。23 時に胎盤娩出し、子宮底の位置は臍高で硬く触れた。児の Apgar〈アプガー〉スコアは 1 分後 8 点、5 分後 9 点。分娩 2 時間後、子宮底の位置は臍下 1 横指で硬く触れた。分娩時出血量は 360 mL。

103 A さんの分娩時のアセスメントで適切なものはどれか。

1. 正期産である。
2. 適時破水である。
3. 遷延分娩である。
4. 分娩時出血量は異常である。

104 A さんは、翌日 1 時に帰室した。5 時、尿意はなかったが、トイレでの排泄を促し排尿がみられた。排尿後の観察で、子宮底の位置は臍下 1 横指で硬く触れ、恶露は赤色で量は中等量であった。会陰縫合部に異常はないが、痛みがあるため円座を使用している。

A さんへの対応で適切なものはどれか。

1. 「下腹部を温めましょう」
2. 「水分摂取を控えましょう」
3. 「腹筋を強化する体操をしましょう」
4. 「尿意がなくても 3～4 時間ごとにトイレに行きましょう」

105 産褥^{さんじょくみつ か} 3 日。A さんは母乳^{ぼにゅう}育児^{いくじ}を希望^{きぼう}している。A さんの乳房^{にゅうぼう}の形^{かたち}は左右^{さゆう}ともⅡa 型^{がた}で、乳房^{にゅうぼう}は緊満^{きんまん}している。両乳頭^{りょうにゅうとう}に損傷^{そんしょう}はない。左腋窩^{ひだりえき か}に副乳^{ふくにゅう}があり「腫^はれて痛い^{いた}」と話す^{はな}。本日^{ほんじつ}の児^じの体重^{たいじゅう}は 3,100 g であった。

A さんに対する看護師^{たい かん ご し}の援助^{えんじょ}で適切^{てきせつ}なのはどれか。

1. 左腋窩^{ひだりえき か}に冷罨法^{れいあんぼう}を行う^{おこな}。
2. 乳房^{にゅうぼう}マッサージを行う^{おこな}。
3. 3 時間^{じ かん}ごとの授乳^{じゅうにゅう}を勧め^{すす}る。
4. 左乳房^{ひだりにゅうぼう}での授乳^{じゅうにゅう}を中止^{ちゅうし}する。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A さん(28 歳、女性)は、両親と 3 人で暮らしている。24 歳のときに統合失調症を
はっしょう ちりょう かい し だいがくそつぎょう ご いち どしゅうしよく schizoprenia
発症し治療を開始している。A さんは大学卒業後に一度就職したが、発症後に退職
し、現在も無職である。2 週前から元気がなく、自室に引きこもってひとり言を言っ
ているのが目立つようになったため、両親同伴で外来を受診した。両親からは、1 年前
から便秘が続き、A さんが薬の副作用(有害事象)を気にするようになったという話が
あった。

106 A さんへの対応で最も適切なのはどれか。

1. 「薬は飲まないといけません」
2. 「薬には副作用があるものですよ」
3. 「便秘は副作用ではありませんよ」
4. 「便秘の対処方法を一緒に考えましょう」

107 診察では幻聴の悪化が認められたため、薬物治療の見直しが行われた。その後、
てい き てき りょうしんどうはん がいらいつういん つづ げつ ご げんちよう かいぜんけいこう しめ き そくだ
定期的に両親同伴で外来通院を続けた。3 か月後、幻聴は改善傾向を示し、規則正
しい生活ができるようになった。外来の診察で、悪化した原因を改めて振り返った
ところ、A さんは「半年前から家族に分からないように薬をトイレに捨てていた」と
はな した。しんざつ ご き りょうしん い し かん ご し め まえ
話した。診察後、A さんからそれを聞いた両親が、医師や看護師の目の前で A さん
をおお こえ しか ひょうじょう けわ
を大きな声で叱ると、A さんの表情は陰しくなった。

A さんの両親に勧めるものとして適切なのはどれか。

1. 心理教育
2. 内観療法
3. 自律訓練法
4. 精神分析療法

108 さらに3か月後、家事の手伝いができるようになり、家庭内で落ち着いた日常生活を送れるようになった。Aさんは「自分のことは自分でできるようになって、将来はまた働きたい」と話すようになり、社会復帰に向けて社会資源の利用を検討することになった。

この時点でAさんに紹介する社会資源で適切なものはどれか。

1. 就労移行支援
2. 地域活動支援センター
3. 居宅介護〈ホームヘルプ〉
4. 短期入所〈ショートステイ〉
5. 共同生活援助〈グループホーム〉

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

A ちゃん(6 歳、女児)は、重症の新生児仮死で出生した。誤嚥性肺炎で入退院を繰り返しているため、今回の入院で経鼻経管栄養法を導入し、退院後は週 1 回の訪問看護を利用することになった。現在は四肢と体幹の著しい運動障害があり、姿勢保持が困難で、移動および移乗は全介助である。声かけに笑顔はみられるが、指示に応じることはできない。

109 訪問看護師が行う母親への経管栄養法の指導で適切なのはどれか。

1. 注入する前に排便させる。
2. 注入中は側臥位を保つようにする。
3. カテーテルは毎日場所を変えて固定する。
4. 家族と同じ食事を流動食にして注入する。

110 訪問看護師は、A ちゃんの誤嚥性肺炎を予防するケアの方法を母親に指導することにした。

母親が行う A ちゃんへのケアとして適切なのはどれか。

1. 腹式呼吸を促す。
2. 咳嗽の訓練を行う。
3. 胸郭可動域の訓練を行う。
4. 含嗽液を用いてうがいをさせる。

111 ははおや らいねん がつ しょうがっこう にゅうがく ねんれい にゅうがく む
母親は「Aは来年の4月には小学校に入学する年齢だけど、入学に向けてどうす
ればよいのか分からない」と訪問看護師に相談した。

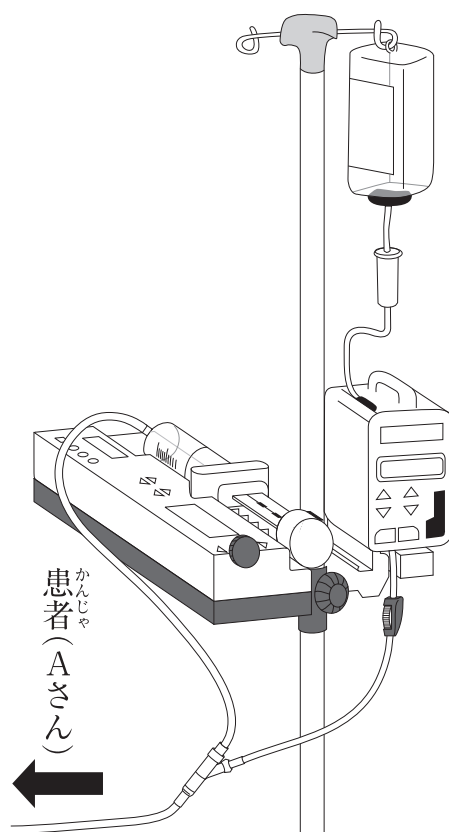
ほうもんかん ご し おこな えんじょ てきせつ
訪問看護師が行う援助として適切なのはどれか。

1. じ たく きょういん は けん しょうがっこう れんらく
自宅に教員を派遣できる小学校に連絡する。
2. にゅうがく とくべつ し えんがっこう しょうかい
Aちゃんが入学できる特別支援学校を紹介する。
3. ちちおや し こと ちょうせい そうげい すす
父親に仕事を調整してAちゃんの送迎をするよう勧める。
4. きょういく い いんかい しょうがっこうにゅうがく かん そうだん すす
教育委員会に小学校入学に関する相談をするよう勧める。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん (78 歳、男性) は、尿路感染症による敗血症で入院し、5 日が経過した。中
心静脈ラインから輸液ポンプを使用して乳酸加リンゲル液が投与され、その側管から
シリンジポンプを使用してノルアドレナリンが投与されている。

- 112 朝 9 時、日勤の看護師が訪室したとき、シリンジポンプの閉塞と輸液ポンプの気
泡混入の、2つのアラームが作動した。ノルアドレナリンの入ったシリンジは残量
があり、乳酸加リンゲル液のボトルが空になっていた。各ポンプおよび各輸液ライ
ンの状況を図に示す。



看護師がアラームを停止した後に行うこととして最も優先度が高いのはどれか。

1. 乳酸加リンゲル液を準備する。
2. ノルアドレナリンを準備する。
3. 輸液ポンプ内のラインの気泡を除く。
4. 輸液ラインの閉塞や屈曲がないか確認する。

113 その直後、看護師はノルアドレナリンの投与量を医師の指示書で確認した。指示書には、午前6時に2 mL/時間から1 mL/時間へ投与量の減量の指示が記載されていたが、午前9時の投与量は2 mL/時間のままであったことに気が付いた。

このときのAさんに対し看護師がアセスメントする項目で優先度が高いのはどれか。

1. 血 圧
2. 尿 量
3. 血糖値
4. 呼吸数

114 Aさんには有害事象はみられなかったが、医師の指示量の2倍のノルアドレナリンが3時間投与されていた。これは、医師がノルアドレナリンの減量を指示書に記載し、夜勤の担当看護師にそれを伝えたが、担当看護師が実際に減量することを忘れたことが原因だった。病棟では、リスクマネジメントとしてこの出来事の再発防止策を考えることとなった。

再発防止策で適切なものはどれか。

1. 薬剤に関する研修会を企画する。
2. 医療機器の操作方法を再教育する。
3. インシデントを起こした看護師は反省文を書くこととする。
4. 医師の指示内容の変更時は、複数の看護師で情報共有をする。

つぎ ぶん よ
次の文を読み 115、116 の問いに答えよ。

A さん(23 歳、男性)は、マラソンの途中で嘔吐し、意識混濁状態となり救急車で搬送された。来院時、体温 39.5℃で、熱中症と診断された。気管挿管と人工呼吸器管理が実施された。膀胱留置カテーテルを挿入後に輸液療法を開始して、ICU に入室した。表面冷却と血管内冷却によって体温は 37℃台に下降した。

き おうれき
既往歴 : 特記すべきことはない。

しんたいしよけん
身体所見 : ICU 入室時、ジャパン・コーマ・スケール〈JCS〉Ⅱ-20。体温 37.8℃、呼吸数 28/分、脈拍 110/分、血圧 94/74 mmHg。暗赤色尿を 1 時間で 20 mL 認めた。

けん さ しよけん
検査所見 : Hb 16.8 g/dL、Ht 48.6%、Na 130 mEq/L、K 6.5 mEq/L、Cl 100 mEq/L、クレアチンキナーゼ〈CK〉48,000 IU/L、尿素窒素 60 mg/dL、クレアチニン 2.4 mg/dL、AST〈GOT〉70 IU/L、ALT〈GPT〉88 IU/L。尿一般検査でミオグロビン陽性。胸部エックス線写真および頭部 CT で異常所見なし。心電図で ST 変化はなく、洞性頻脈を認めた。

115 このときの A さんの状態のアセスメントで適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 貧血である。
2. 筋肉が傷害されている。
3. 致死性不整脈が出現しやすい。
4. 心原性ショックを起こしている。
5. 利尿薬の使用が必要な状態である。

116 Aさんは腎不全が悪化し、持続的血液透析を1週間実施した。入院後20日が経過し、Aさんは尿量100 mL/時間以上、クレアチニン1.4 mg/dLとなった。気管チューブと膀胱留置カテーテルは抜去され、状態は落ち着いている。ADLは拡大し、3日後に退院することとなった。

Aさんへの退院指導で適切なのはどれか。

1. 水分を制限する。
2. 蛋白質を制限する。
3. 積極的に運動する。
4. 生野菜を積極的に摂取する。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 117、118 の問いに答えよ。

A さん(60 歳、男性)は、自宅近くを散歩中に突然の胸痛が出現し、救急車を要請した。救急隊到着時のバイタルサインは、呼吸数 28/分、脈拍 100/分、血圧 80/40 mmHg であった。冷汗が著明で、前胸部から左肩にかけての激痛を訴えていた。問診で狭心症の既往歴があることが分かった。入院時の検査で急性心筋梗塞と診断され
angina pectoris acute myocardial infarction
た。

117 このときの検査所見として適切なものはどれか。

1. 心電図の ST 上昇
2. 左肺呼吸音の減弱
3. クレアチンキナーゼ<CK>の下降
4. 胸部エックス線写真での心陰影の縮小

118 緊急心臓カテーテル検査で左冠動脈起始部に 90 % の閉塞を認め、緊急冠動脈バイパス術が行われた。術後 5 日、集中治療室から一般病棟に転棟した。A さんは「手術も無事終わって命が助かった。リハビリテーションが大切と聞いたので、頑張っ

て廊下を歩きますよ」と看護師に話した。術後の ADL 拡大は順調に進み、A さんは病棟内での 200 m の歩行が許可されている。胸部症状の出現や心電図の変化は認めない。

A さんへの心臓リハビリテーションについて適切なものはどれか。

1. 息苦しさが出現したら中止する。
2. 気分の良いときに階段昇降を勧める。
3. 衣服の着脱は家族に介助してもらう。
4. レジスタンストレーニングを中心に行う。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 119、120 の問いに答えよ。

A さん(32 歳、女性)は、営業で外出の多い業務を担当している。1 か月前から発熱、倦怠感、関節痛および顔面の紅斑が出現し、近くの医療機関を受診したところ全身性エリテマトーデス(SLE)と診断され治療目的で入院した。入院時所見は身長 160 cm、体重 55 kg。血圧 142/80 mmHg。血液検査データは、白血球 4,400/ μ L、血小板 17.5 万/ μ L、Hb 12.5 g/dL、クレアチニン 2.5 mg/dL、抗核抗体は陽性であった。

119 入院時のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 貧血
2. 出血傾向
3. 易感染状態
4. 腎機能低下

120 A さんはプレドニゾロン 60 mg/日のステロイド治療が開始となった。

A さんへの説明で適切なのはどれか。

1. 「食事の制限はありません」
2. 「倦怠感が強いときは薬の中止を検討します」
3. 「薬の影響で気分が大きく変動するかもしれません」
4. 「職場復帰に備えて天気の良い日は散歩しましょう」
5. 「治療で病状が改善すると抗核抗体が陰性になります」

